



愛 & 絆 ガンバロー!! そのき 曾野木地区コミュニティ協議会だより

第 8 号
令和2年7月1日

事務所：新潟市江南区天野2丁目7番2号 曾野木地区センター3階 TEL/FAX 025-280-4175

曾野木地区人口：10,381人 世帯数：4,298世帯 令和2年4月末現在（住民基本台帳による）

令和2年度（第6回）定期総会開催模様 令和2年5月15日（金）

新型コロナウイルスの影響により、急遽、総会参加予定者による書面議決により開催
(各議案とも提案どおり承認されました)

新型コロナウイルス禍～桜田体制3期目へ！

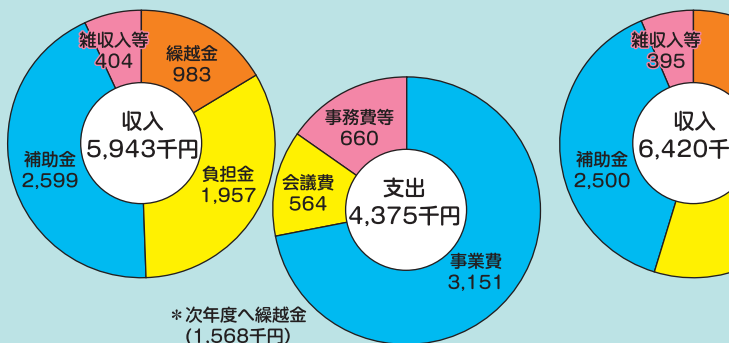
新役員

役職	氏名	備考
会長	桜田 博治	再任（天野あさひ自治会長）
副会長	勝沼 好孝	再任（曾野木団地第4自治会長）
副会長	中野 高子	新任（東曾野木小地域教育コーディネーター）
事務局長	山崎 清一	再任（依柳自治会）
会計幹事	廣川 章	再任（依柳自治会長）
総務部会		
部会長	桜田 博治	再任（兼務）
副部会長	勝沼 好孝	再任（兼務）
副部会長	齋藤 恒弘	再任（曾野木ニュータウン自治会長）
交流・連帯部会		
部会長	井浦 邦子	新任（曾野木地区青少年育成協議会長）
副部会長	増田 進	再任（天野中前川原自治会長）
副部会長	大野 一利	新任（新天野自治会長）
健康福祉部会		
部会長	中野 幹夫	再任（民生児童委員協議会副会長）
副部会長	青瀬 達雄	再任（天野稻荷町自治会長）
副部会長	五十嵐武子	再任（曾野木七味の会長）
安心安全部会		
部会長	西脇 厚	新任（曾野木地区防災士会長）
副部会長	山我徳治郎	再任（太右エ門新田自治会長）
副部会長	渡辺 茂樹	新任（鐘木自治会長）
地域魅力向上部会		
部会長	小林 勝治	新任（天野陽光自治会長）
副部会長	平井 一己	新任（ふれあい曾野木まつり実行委員長）
副部会長	小菅奈穂子	再任（曾野木商工会総務部長）
会計監査	佐藤 輝昭	新任（天野中央自治会長）
会計監査	大山 吉男	新任（曾野木団地第3自治会長）

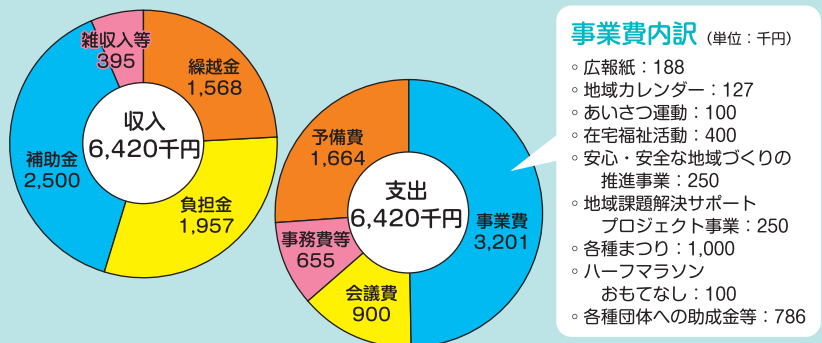
主な事業計画

- 総務部会関連
 - ① 広報紙の発行：（年2回発行～7月、1月）
- 交流・連帯部会関連
 - ① 曾野木地区あいさつ運動の実施～6月、10月（強化月間予定）
 - ② フロアカーリング大会の開催；11月15日（日）予定
 - ③ 地域カレンダーの発行（年3回発行）
- 健康福祉部会関連
 - ① 世代交流会の開催 ～中止～
 - ② 歳末ふれあいお楽しみ会の開催；11月又は12月予定
 - ③ 在宅福祉活動の推進（友愛訪問、ふれあい給食 など～通年）
- 安心安全部会関連
 - ① 曾野木地区安心・安全な地域づくり推進事業（補助金継続事業）の活用・防災、防犯、交通安全関連物品の購入 等
 - ② 曾野木地区合同防災訓練（映写会含む）の実施～10月予定
- 地域魅力向上部会関連
 - ① 地域課題解決サポートプロジェクト事業の活用（新事業）（曾野木地区若手交流会との連携）
 - ② 団地夏祭り、曾野木いきいき夏まつり、ふれあい曾野木まつり ～中止～
 - ③ 新潟ハーフマラソンへのボランティア&おもてなし3月中旬予定

令和元年度決算



令和2年度予算



- 事業費内訳（単位：千円）
- 広報紙：188
 - 地域カレンダー：127
 - あいさつ運動：100
 - 在宅福祉活動：400
 - 安心・安全な地域づくりの推進事業：250
 - 地域課題解決サポートプロジェクト事業：250
 - 各種まつり：1,000
 - ハーフマラソンおもてなし：100
 - 各種団体への助成金等：786

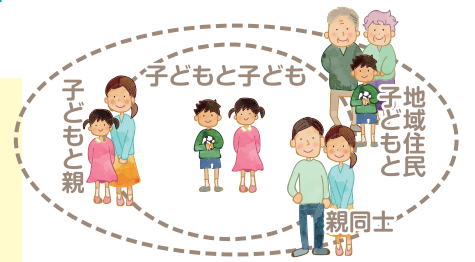
曾野木地区市営住宅跡地等施設整備事業

の骨格が決まりました!

～2022年併用開始予定～

◆事業実施方針

【コンセプト】 子どもの笑顔を地域の真ん中に
～子どもを中心に新しい繋がりを生み出し、
多様な世代が支え合える活気溢れる街づくり～



- 【基本方針】
- 子** 子育て環境の充実
 - 場** みんなの居場所の創出
 - 健** 曾野木地区の健康増進
 - 安** 安全・安心な拠点
 - 財** コスト削減と財源確保

◆事業概要

コミュニティ施設	構造：木造、2階建て 延床面積：699.33㎡（予定） 特徴：統合保育施設との間に「出会いの広場」を設け、両施設の交流の機会を創出。施設内にも大小異なる多世代交流スペースを設け、誰もがお気に入りの「居場所」を見つけられる空間とする。
統合保育施設	構造：木造、平屋建て 延床面積：816.25㎡（予定） 事業期間：30年（定期借地権方式により整備・運営） 特徴：当初定員は120名 障がい児への対応も考慮した和室や図書コーナー、デンの設置
保育園等跡地	曾野木保育園等跡地：宅地分譲、保育園職員駐車場、歯科クリニック 第二曾野木保育園跡地：宅地分譲
その他	区内及び周辺の地域企業や地域人材の積極活用により地域経済に貢献

全体配置イメージ(市営住宅跡地)



敷地全体の鳥瞰パース



※提案時における優先交渉権者の主な提案内容であり、今後の協議等により変更になることがあります。

歳末ふれあいお楽しみ会 (曾野木地区社会福祉協議会主催) 令和元年12月14日(土) 曾野木地区公民館



ことぶき保育園～お遊戯



新潟万代太鼓(華龍)～万代太鼓演奏

◆プログラム

- みんなにこここ～寸劇
- ことぶき保育園～お遊戯
- 新潟万代太鼓(華龍)～万代太鼓演奏

◎ふれあい昼食会◎

- ガールスカウト～ハンドベル演奏
- 天野甚句保存会～天野甚句



曾野木団地”どんと焼き”

(曾野木団地第二自治会主催)
令和2年1月26日(日) 曾野木団地内広場



残り火でスルメ焼き

曾野木社協座談会

次期計画(R3年度～R8年度)の地区別目標
及び取組方針を検討する座談会を開催

- ・第1回: 令和元年12月18日(水)
～曾野木地区公民館大ホール
- ・第2回: 令和2年2月25日(火)
～コミ協会議室



第1回座談会模様

■新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」の実践例

ご自身や、周りの方、そして地域を感染拡大から守るため、それぞれの日常生活において、
ご自身の生活に合った「新しい生活様式」を実践しましょう!



一人ひとりの基本的感染対策



感染防止の3つの基本: ①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける。
- 遊びにいくなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う(手指消毒薬の使用も可)

※高齢者や持病のあるような
重症化リスクの高い人と会う際には、
体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策



- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。



曾野木
再発見

曾野木七味の会

曾野木地区の在宅福祉活動の中心的な役割を担って頂いている「曾野木七味の会」。今回は、その会の五十嵐武子会長を訪ね取材をしました。

1. 活動開始のきっかけは？

年を追うと共に団地部ではだんだん独居老人が多く居住し、農村部では昼間留守を預かるお年寄りが多くなってきて地域の抱える問題も複雑多岐になってきました。

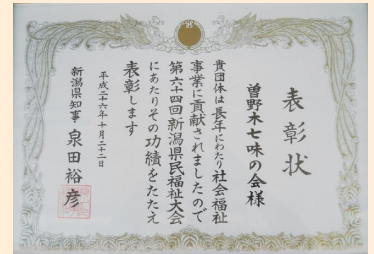
そんな中、昭和59年に一人暮らしの高齢者の増加に地域福祉として何とかしたいと、当時の女性民生児童委員が中心となり、団地部の一人暮らし高齢者を対象に「ふれあい給食（会食会）」をテストケースとして実施しました。その時、「美味しかった」「またお願いします」などの喜びの声に勇気づけられ、何とかこの活動を地域全体に広めたいとの思いから、地域団体に呼びかけ、ボランティアグループ「七味の会」を結成（昭和61年）しました。

2. 長い間、活動が継続していますがその秘訣は？

七味の会は無償のボランティアです。七味の心は『愛 和 優しく 美しく 明るく豊かに 思いやり』のこころです。

今では、“活動していることが健康でいられる秘訣ね”とも。常に笑顔が絶えず年齢を忘れて明るく活動しています。「できる人が できる時に できることを」を合言葉として気軽に活動していることが活動継続の秘訣でしょうか。

また、我々の活動が新潟県や新潟市などに認められたことも励みになりました。



3. 具体的な活動内容は？



活動の中心は、在宅高齢者や障がい者世帯への「ふれあい給食」（手作り弁当を宅配）です。近年は、民生児童委員の協力を得、年7回実施しています。その内2回は中学生と一緒に交流宅配を実施しています。

もう一つの柱である友愛訪問（安否確認、見守りなど）のほか、世代交流会・歳末ふれあいお楽しみ会やふれあい曾野木まつりの地域行事に昼食作りなど積極的に参加しています。

また、新潟ハーフマラソンの開催日には、ランナーにイチゴ（越後姫）をふるまうお手伝いも始めました。

4. 地域の皆さんにお願いしたいことは？

地域の諸団体のご支援により、これまで活動を継続することが出来ました。ただ、時がたち会員の高齢化という悩みがあります。一方で、地域の高齢化がますます進む中、住民同士の支え合いが不可欠だと思っています。そのためにも、もっと若い世代が活動に参加してもらいたいものです。～新規入会をお待ちしております～

取材を終えて

昨今、“支え合いのしくみづくり”が叫ばれている中、30年以上の長きにわたり、在宅福祉活動を牽引されてこられた「曾野木七味の会」の皆様には頭が下がります。この素晴らしい活動をこれからも継続してもらいたいものです。

自治会紹介

天野中前川原自治会

自治会長 増田 進

遠くに連なる山々の風景。角田・弥彦に沈みゆく夕日。信濃川に育まれた地区の自治会が「天野中前川原」です。

昭和48年ころは、田畑のなかに数世帯の地区でしたが、今は330世帯余の自治会となりました。昭和57年に当自治会は発足し、大きな自治会となった現在は、自治会を24班編成として活動しております。自治会の通常活動のほかに、各種活動は次のとおりです。

安全安心活動として、自治会のセーフティスタッフ5名が、児童生徒の登下校時の見守り活動、平成31年からですが、自治会防犯パトロール隊を結成し防犯活動を、行っております。自治会活動の拠点として、集会



昭和51年・中前川原公園→ことぶき保育園

所の設置を希望する声が強くなり、前向きに検討中のところです。

近年の大規模災害の頻発を踏まえ、防災・減災備品の整備拡充を進めております。

令和元年8月末に、自治会の初めての夏祭りを開催しました。お孫さんとおじいちゃん、おばあちゃん。引越して来たばかりの若い夫婦とお子さん。それぞれ楽しんでいただきました。

地域の方々との情報共有のため、当自治会ホームページを立ち上げるなどして、絆意識の醸成、高齢化、世代間意識格差などの諸課題を少しでも良い方向とするために各種自治会活動を推進しているところです。



令和元年8月の中前川原夏祭りの一コマ

※この事業は新潟市の補助金を受けて実施しています。